

寛次郎の魅力は何ですか

明治23年(1890)、鳥根県安来に生まれた河井は、松江中学校時代に陶器の道へ進むことを決意し、東京高等工業学校(現・東京工業大学)窯業科へ進学、卒業後は京都市立陶磁器試験場に入所し、陶磁や釉薬の研究に従事しました。

第1民芸館 〈「釉薬(くすり)の河井」から「造形(かたち)の河井」へ 表現者・河井寛次郎〉

河井の初期から後期までの陶業や木彫を展観、また、河井の書を通して「表現者・河井寛次郎」を紹介します。

Kawai Kanjiro



- 第1民芸館展示品
- 8.孔雀緑黒花文耳付壺|大正11年頃|16.0×15.4cm|個人蔵
 - 9.白釉草花絵扁壺|昭和14年頃|33.3×29.2×21.7cm
 - 10.呉洲泥刷毛目扁壺|昭和38年頃|21.0×20.4×15.0cm|個人蔵
 - 11.木彫像|昭和33年頃|66.0×33.0×28.0cm
 - 12.書「泥身火魂」|昭和36年頃|60.0×48.5cm

第2民芸館 〈暮しが仕事 仕事が暮し〉

暮しを意識した作品や、金工・木彫などのデザインの仕事を展観、また、河井の愛蔵品もあわせて紹介し、前例のない造形を生み出し「表現者」と形容された河井寛次郎の全貌に迫ります。



- 第2民芸館展示品
- 13.辰砂窯変筒描碗|昭和25年頃|11.0×12.0cm|個人蔵
 - 14.黒釉面取土瓶|昭和17年頃|17.4×20.0×15.4cm
 - 15.真鍮キセル(デザイン)|制作・金田勝造|昭和25年頃〜|最長28.5cm 最短15.0cm
 - 16.木喰仏 釈迦如来像(愛蔵品)|享和元年(1801)|72.5×24.2×18.5cm
- ※表記のないものは河井寛次郎記念館所蔵

関連企画

目で聴き、耳で視る|中村裕太が手さぐる河井寛次郎

河井寛次郎展の関連企画として、美術家中村裕太(1983-)が、河井の仕事にみられる造形感覚をその暮らしからひも解いていく展示を行います*。

河井は日本民藝館の初代館長である柳宗悦と志を同じくし、民藝運動を共に牽引しました。本展では、豊田市第1民芸館が日本民藝館の建物の一部(大広間と館長室)を移築したものであることに着目し、元館長室に河井と柳にまつわる作品や資料などを設えていきます。会期中には、河井寛次郎記念館が所蔵している作品や家具などをもとに中村が制作した造形物に触れるワークショップも開催します。

*本展では、2022年に京都国立近代美術館で「感覚をひらく」事業として開催された鑑賞プログラムを一部再構成するとともに、新たな視点を加えて開催します。

関連事業

○トークショー「河井寛次郎に聴き、柳宗悦に視る」

河井と柳が終生交わし合った言葉を引き合いに、二人が何を聴き、視ていたのかを推察する『アウト・オブ・民藝』著者たちによる、なかよしトーク。

- 日 時:12月16日(土)午後2時-3時半
講 師:軸原 ヨウスケ(デザイナー)×中村裕太(出品作家)
会 場:第3民芸館
聴 講:無料(ただし当日の観覧券の提示が必要)
定 員:先着40名(事前申込不要)



作家紹介|中村裕太

1983年東京生まれ、京都在住。京都精華大学博士後期課程修了。博士(芸術)。京都精華大学芸術学部准教授。〈民俗と建築にまつわる工芸〉という視点から陶磁器、タイルなどの学術研究と作品制作を行なう。近年の展示に「チョウの軌跡|長谷川三郎のイリュージョン」(京都国立近代美術館、2023年)、「第17回イスタンブール・ビエンナーレ」(パリン・ハン、2022年)、「目で聴き、耳で視る|中村裕太が手さぐる河井寛次郎」(京都国立近代美術館、2022年)、「万物資生|中村裕太は、資生堂とを調査する」(資生堂ギャラリー、2022年)、「MAMリサーチ007: 走泥社—現代陶芸のはじまりに」(森美術館、2019年)、「あいちトリエンナーレ」(愛知県美術館、2016年)、「第20回シドニー・ビエンナーレ」(キャリッジワークス、2016年)など。著書に『アウト・オブ・民藝』(共著、誠光社、2019年)。

- 17.1930年頃 京都・河井邸にて 左:河井寛次郎(当時40歳頃)、右:柳宗悦(当時41歳頃)
18.河井寛次郎記念館 木製丸玉手すり(画像提供:京都国立近代美術館)
19.河井寛次郎記念館 庭の丸石(画像提供:京都国立近代美術館)

○ワークショップ「目で聴き、耳で視る」

旧館長室に設えられた中村が制作した造形物を視て、聴いて、触れることで、河井の造形の魅力を新たな角度から読み解いていきます。

- 日 時:①12月16日(土)10時半-12時 ②3月2日(土)午後2時-3時半
講 師:中村裕太(出品作家)
会 場:旧館長室(第1民芸館)
定 員:各回8名程度/参加無料(ただし会期中の観覧券の提示が必要)
申込み:民芸館HP講座申込みフォームにて①12月6日(水) ②2月21日(水)までにお申込みください。